学校教育目標「地域や郷土を愛し、多様な人との対話を通して、しなやかに挑戦し続ける生徒の育成」

第９号　「自律」「協働」「対話」　令和８年度　長崎市立横尾中学校　学校だより

しなやか

しなやかに挑戦
できないと挑戦をはじめから諦めず、どう工夫し、どう改善すればいいか柔軟に考え、対応していくこと

Ｒ８．１１．６　発行
校長：角　厚作

２年生修学旅行へ行ってきました！

去る10月28日から30日までの2泊3日、2年生は待ちに待った関西方面への修学旅行を実施いたしました。心配された台風の影響もなく、天候に恵まれ、生徒一人ひとりが主体的に行動し、多くの学びと成長を収めた実り多き三日間となりました。

初日はまず、学問の神様として知られる太宰府天満宮を訪れました。参道の活気ある雰囲気を味わいながら、今後の学業成就や進路実現を願う生徒たちの真剣な表情が印象的でした。続いて訪れた「北九州グローバルゲートウェイ」では、体験型英語プログラムに挑戦しました。ネイティブの外国人スタッフと1対1やグループでのやり取りを行い、最初は少し緊張気味だった生徒たちも、身振り手振りを交えながら積極的にコミュニケーションを図り、英語が伝わる楽しさを実感することができました。夕刻には門司港へと移動し、関西行きのフェリーに乗船。船上から眺める夕日と、大海原を進む夜の旅路は、日常から離れた特別な思い出の第一歩となりました。

二日目の朝、泉大津港に到着した私達は、バスで京都市内へと向かいました。あいにく高速道路の渋滞に巻き込まれ、京都市内への到着が予定より約一時間遅れるというアクシデントに見舞われました。しかし、生徒たちは慌てることなく、臨機応変に対応しました。状況に合わせて見学ルートや時間の使い方を再確認し、全体の研修時間を延長する形で班別自主研修を開始。古都・京都の歴史ある寺社仏閣や町並みを自分たちの足で巡り、仲間と協力しながら探訪を重ねました。夕方、各班が無事にゴールである山田屋旅館に到着した際の表情には、たくましさすら感じられました。夕食や夜のひとときも、仲間同士の絆を大いに深めるかけがえのない時間となったようです。

最終日は、京都を後にし、大阪へと向かいました。この日も都市部への交通渋滞があり、大阪城公園への到着が遅れてしまったため、時間の都合上、残念ながら天守閣へ登ることは叶いませんでした。それでも、間近で見上げる大阪城の雄大な石垣や堀のスケールに圧倒され、歴史の息吹を肌で感じ取ることができました。昼前には新幹線に乗車し、思い出が詰まったリュックとともに無事学校へと戻ってまいりました。

今回の修学旅行では、予定通りのスムーズな行程ばかりではありませんでした。しかし、渋滞などによる思わぬ日程変更に対しても、混乱することなく冷静に状況を受け入れ、互いに声を掛け合いながら前向きに行動できたことこそが、生徒たちの大きな誇りであり収穫です。この三日間で培った「規律ある行動力」「仲間と協力する姿勢」「臨機応変な判断力」は、今後の学校生活、そして時期リーダーとしての自覚へと確実に繋がっていくと確信しております。

修学旅行の実施にあたり、早朝の送迎や丁寧な事前準備など、多大なるご支援をいただきました保護者の皆様に、改めて深く御礼申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



養護教諭の着任、外大インターンシップ

10月末日をもちまして、7ヶ月間にわたり本校の健康管理を支えてくださった養護助教諭のMW先生が任期を終えられました。修学旅行の引率をはじめ、温かく親身な対応で生徒たちの心身の成長を温かく見守っていただきました。心より感謝申し上げます。11月より育児休暇を終えたWM養護教諭が復帰いたしました。引き続き全職員で力を合わせ、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れる環境づくりに努めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします

また、11月から長崎外国語大学の３年生５名を「学校インターンシップ」として4か月間受け入れます。教職に興味を持つ学生の皆さんです。生徒との交流や多様な価値観や考え方に触れながら、将来について考える大切な期間です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。